

## 令和6年度 道徳教育 全体計画

学校番号	11	須坂創成	高等学校	全	課程	農・工・商科
------	----	------	------	---	----	--------

学校教育目標
1 産業構造の変化に柔軟に対応し、職業人として必要とされる専門力と創造力を兼ね備えた地域産業の担い手を育成する。 2 生徒一人ひとりが輝く「明るい学園」を創造し、思いやりの心を大切にすることづくりをとおし、社会に貢献できる人を育成する。
重点目標
○ 総合技術高校としての特色を生かし、農工商の枠を超えたより広い専門性と柔軟な実践力を養成する。 ○ 地域に根ざした信頼される学校づくりをすすめ、地域社会を担う人を育成する。 ○ 自らに誇りを持ち、ルールやマナーを大切にすること誠実で品格ある人を育成する。

道徳教育の重点目標
命の大切さを知るとともに、日常生活の中にあるさまざまな差別や偏見に気付き、相手の立場や気持ちを自らの問題として受け止め、解決していく実践力を持った生徒を育成する。 また、日常的な人権教育・道徳教育をとおして豊かな人間性を育み、地域に根ざした総合技術高校として、確かな人権感覚と道徳規範を身に付けた生徒を地域社会に送り出す。

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
					国語	地理歴史
1年	一人ひとりの人権を尊重できるクラスづくり・仲間づくり。 いじめ・人権侵害などを未然に防ぐための活動にクラスとして取組む。 「いじめを絶対にしない」誓いをする。	自己理解と高校生活の設計を行い、働くことの意味について考える。	基本的生活習慣や学習習慣を形成させる。	生徒会の人権平和委員会を中心に、全校での人権教育講演会の運営に関わったり、須坂市人権教育啓発標語に応募するなど、命の大切さや人との繋がり、人権や平和について考える活動に取組む。	国語	優れた文学作品に触れ、自ら今後の生き方について考える。
2年	身の回りにあるさまざまな差別の実態や社会的矛盾の実態について学び、その解決に向けての方策を考える。 修学旅行を機として人権平和学習を深め、また現地で研修を行う。	就業体験を通じて、職業観や勤労観を養う。	修学旅行などから、平和について学習を深める。	○創成祭 1～3年 ○創成フェア 1～3年 ○生徒会の運営 ○ボランティア	地理歴史	地理的・歴史的な社会の成り立ちの背景について考える。
3年	人権侵害や差別、社会的不平等の現実を学び、その社会の中で生きていく「生き方」を考える。 進路学習の中で、社会人としての自らの具体的行動を考えさせる。	卒業後の自らの将来を考え、具体的な目標設定を行い、進路実現を目指す。	進路実現へ向けた具体的活動を通じて、ひたむきに努力する態度の育成を図る。		公民	平和で民主的な社会の構築について学ぶ。
					数学	論理的な思考力を養い、合理的に判断する態度の育成を図る。
					理科	生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度の育成を図る。
					保健体育	規律ある集団行動をとおして、公正な立場で協力する態度を養う。
					芸術	多様な表現活動や鑑賞をとおして豊かな情操を養い、自他の感性を受容する資質の育成を図る。
					外国語	諸外国の文化を理解し、日本文化の伝統や風土に対する認識を深める。
					家庭	家庭の人間関係、高齢化の問題、子育て、環境などの視点から、どうすれば一人ひとりが自分らしい生き方ができるか、社会のあり方も含め考える。
					農業	農作物の体験的な栽培学習を通じて、命を導ぶ心を醸成する。
					工業	ものづくりに対する実践的な学習を通じ、工業製品の恩恵を学ぶ。
					商業	職業人として求められる倫理観と豊かな人間性を育み、ビジネスをとおして社会に貢献する態度を養う。

家庭・地域との連携	・学校HPやPTA総会を通じて、本校の道徳教育の取組みについて保護者への周知徹底を図る。 ・家庭や地域との連携を図り、多様なコミュニティーでの相互理解を深め、他者への信頼感とセルフエスティーム（自己肯定感）を育成する。
-----------	--